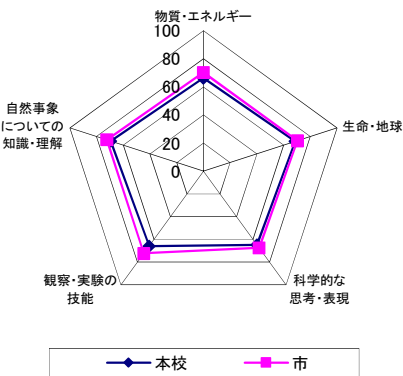


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.3	70.3	69.0
	生命・地球	68.7	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	64.7	67.5	66.4
	観察・実験の技能	65.9	72.3	68.9
	自然事象についての知識・理解	69.4	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○実験の結果とにおいから、水溶液が何であるかを考える問題では、本校正答率41.7%と、市の正答率より5.1ポイント上回った。 ○水に溶けた物の取り出し方についての理解を問う問題では、本校正答率51.2%と、市の正答率を1.5ポイント上回った。 ●振り子の周期は、振り子の長さ依存することを理解しているかを問う問題では、本校正答率が52.4%と、市の正答率より17.8ポイント下回った。 ●リトマス紙につけたときの色の変化から、液性を問う問題では、本校正答率57.1%と、市の正答率より13.9ポイント下回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・水溶液の問題では、水溶液の性質や水に溶けた物の取り出し方など、実験・考察によって理解が深まったと考えられる。今後も、理科の授業において、児童主体の実験活動を行うことを重視していきたい。 ・振り子の学習は、5年生の学習内容である。そのときには理解できたつもりでいても、忘れてしまった可能性が高い。新出内容の学習を進めつつ、朝の学習等で既習内容の復習をしていくなど、学習指導の工夫改善を図りたい。 ・リトマス紙の変化の誤答については基礎的内容の定着が不十分だったと思われる。実験後、プリント学習を取り入れるなど、学力定着に向けた工夫改善を図りたい。
生命・地球	○植物の発芽についての対照実験の目的を問う問題では、本校正答率83.3%と、市の正答率より7ポイント上回った。 ○セロリの茎で、水が通る部分を問う問題では、本校正答率69.0%と、市の正答率より12.7ポイント上回った。 ●血液を全身に送り出す心臓の動きを「拍動」ということを理解しているかを問う問題では、本校正答率13.1%と大幅に低く、さらに市の正答率より3.1ポイント下回った。 ●月と太陽の位置関係から、俳句がよまれたときの情景を推測する問題では、本校正答率45.2%と、市の正答率を11.2ポイント下回った。	・理科の授業において、児童主体の実験活動を行うことによって、知識が深く心に刻まれ、理解が深まるものと考えられる。今後も、可能な限り実験活動に力を入れていく。 ・ヒトの体についての学習では、動画を視聴したり、書籍による調べ学習が中心となる単元である。したがって、児童の中には理解が不十分な児童も多かったと考えられる。今後は、動画の視聴や調べ学習で身に付けた知識を、ペアやグループ、クラス全体の友達に「教えたり、伝えたりする活動」を取り入れたい。友達に教えるという行為は、自分が理解していなければできない。学習形態を工夫して基礎基本の定着を図りたい。 ・月や太陽などの天体の学習では、知識・理解のみならず、古くからの日本の文化の面にも意識を向けさせる等、工夫改善をしていきたい。